



2025年4月14日

各位

会社名 株式会社ハピネス・アンド・ディ  
(東証スタンダード・コード3174)  
代表者名 代表取締役社長 田 篤史  
問合せ先 専務取締役 前原 聡  
電話番号 03-3562-7525

**特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し並びに2025年8月期第2四半期(中間期)  
連結・個別業績予想と実績値の差異に関するお知らせ**

当社は、2025年8月期第2四半期(中間期)連結決算において、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しを行うとともに、2024年10月15日に公表いたしました2025年8月期第2四半期累計期間(2024年9月1日~2025年2月28日)の業績予想と本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩し

当社は、2025年8月期第2四半期(中間期)連結決算において、移転改装店舗の固定資産廃棄損22,750千円、下期における閉店予定店舗の店舗閉鎖損失引当金繰入額9,564千円・減損損失5,783千円、子会社におけるリース解約損2,716千円、合計40,815千円を特別損失に計上いたしました。

また、2025年8月期第2四半期(中間期)の実績等及び今後の見通しを踏まえ、繰延税金資産の一部を取崩すこととし、法人税等調整額61,065千円を連結決算に計上いたしました。

なお、上記の法人税等調整額の計上につきましては、本日公表の「2025年8月期第2四半期(中間期)決算短信」に反映しております。

2. 2025年8月期第2四半期(中間期)連結・個別業績予想と実績との差異

2025年8月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績との差異(2024年9月1日~2025年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社 株主に帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,491	百万円 173	百万円 154	百万円 101	円 銭 39.90
実績(B)	4,726	△81	△97	△205	△80.64
増減額(B-A)	△765	△254	△251	△306	—
増減率(%)	△13.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	5,974	44	30	△19	△7.80

2025年8月期第2四半期(中間期)個別業績予想と実績との差異(2024年9月1日~2025年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり 中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 5,195	百万円 142	百万円 142	百万円 101	円 銭 39.85
実績(B)	4,531	△43	△54	△160	△62.98
増減額(B-A)	△664	△185	△196	△261	—
増減率(%)	△12.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	5,711	0.4	△9	△41	△16.17

差異の理由

(1) 連結

個別の業績が下記(2)記載のとおり当初予想を下回ったこと、AbHeriにおいて前年度下期における価格引上げの影響が想定を上回り売上が落ち込んだこと、No. (ナンバー ドット)の販売の立ち上げ時期がずれ込んだことにより、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益が予想を下回る結果となりました。

(2) 個別

売上高につきましては、売上構成の中心となっていたバッグ・小物等の雑貨部門において、価格高騰の影響による販売の落ち込みが大きく、当初の予想を下回る結果となりました。当期においては宝飾部門の強化に引き続き取り組み、地金商品の販売は好調に推移したことで、売上総利益率は前期第2四半期(中間期)の35.7%から38.9%へ3.2ポイント改善し、人件費を中心に販売費及び一般管理費の削減にも取り組みましたが、売上高の落ち込みを吸収することができず、営業利益・経常利益における予想を下回る結果となりました。

また、加えて、上記1.における移転改装店舗の固定資産除却損等を特別損失に計上したこと及び繰延税金資産の取崩しにより、中間純利益が予想を下回る結果となりました。

3. その他

本件開示とあわせて2025年8月期通期業績予想を修正しております。詳しくは本日公表の「2025年8月期通期連結・個別業績予想の修正及び中期経営計画数値の取下げに関するお知らせ」をご確認ください。

以 上